

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2005-114753(P2005-114753A)
 【公開日】平成17年4月28日(2005.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報2005-017
 【出願番号】特願2003-344648(P2003-344648)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/28 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/288 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/28 K

G 0 9 G 3/20 6 2 4 M

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 2 E

G 0 9 G 3/28 B

G 0 9 G 3/28 E

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フレームをそれぞれ輝度重み付けをした表示期間を含む複数のサブフィールドに置き換えて表示するプラズマディスプレイパネルの駆動方法であって、

少なくとも1つの表示期間に印加するサスティン放電用のパルス状の電圧として、発光輝度の異なる複数種類の印加電圧波形を用い、

当該サブフィールドに対して設定した輝度の重みに応じて、前記複数種類のサスティン放電用パルス電圧波形の印加回数を調整して駆動することを特徴とするプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項2】

前記複数種類のサスティン放電用パルス電圧波形の印加回数を入力輝度に応じて変化させることで階調表示を行うことを特徴とする請求項1記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項3】

前記複数種類のサスティン放電用パルス電圧波形の印加回数を規則的に交互に配列させることを特徴とする請求項2記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項4】

前記複数種類のサスティン放電用パルス電圧波形の内、到達電位の高い印加電圧波形をサスティン期間の後半部に集中的に配置することを特徴とする請求項2記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項5】

前記複数種類のサスティン放電用パルス電圧波形の内、到達電位の高い印加電圧波形をサスティン期間の中盤に集中的に配置し、その前後に到達電位の低い印加電圧波形を配置

することを特徴とする請求項 2 記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項 6】

前記複数種類のサスティン放電用パルス電圧波形の印加回数の構成比を、表示画像の表示率に応じて変化させることを特徴とする請求項 1 記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。